

○夜間の景観形成方針（景観計画 第1章に追加）

○東京ならではの夜間景観

- ・ダイナミックな都市構造
（市街地の広がり、高層ビル群）
- ・俯瞰夜景を楽しめる高層ビルなどが多い
- ・個性ある地域の夜景（大丸有、渋谷、表参道、浅草、歌舞伎町、水辺など）



○誘導の方向性

- ・都市構造や地域の個性を踏まえた照明により、多様な地域が共存し連担する、東京ならではの夜間景観の魅力を高める。
- ・地域特性を踏まえ、周辺環境に応じた照明とし、地域の景観資源を照明で引き立たせることにより、地域の魅力を向上する。
- ・陰影のある美しく快適な空間創出や、省エネルギー・省資源化を推進し、単純に光の「量」を増やすのではなく、光の「質」を高める。

ダイナミックな都市構造を光で表現

- ・幹線道路、拠点などの都市構造を照明の明るさ、強さ、色等によってヒエラルキーをつけて演出する。
- ・夜のにぎわいや活気を演出する地区、品格や落ち着きを持った明るさを抑制すべき地区など、地域特性を踏まえた照明によりメリハリをつける。

地域の個性を活かした夜間景観の形成

- ・周辺環境との調和に配慮した照明により、地域全体の魅力を高める。
- ・東京の歴史や文化、地形や自然などの景観資源を引き立たせる照明を行う。
- ・個性ある地域の夜景を回遊して楽しめるよう、光を点から線、面へと繋げ、連続性のある夜間景観を形成する。

光の質の向上

- ・まぶしく不快な光の抑制や演色性の配慮など、光の質を向上し、快適な光環境をつくる。
- ・光と影を効果的に使ったメリハリの演出により、印象に残る美しい夜間景観を創出
- ・必要な場所に光をあて過度な照明は抑制するなど、少ないエネルギーで効果的な照明とする。
- ・省エネルギー器具の採用や太陽光など自然エネルギーの活用により、環境に配慮した照明とする。



隅田川厩橋上空より都心方向



東京駅丸の内駅舎



日本橋室町 仲通り

地区特性ごとの方向性(案)

| 地区区分 | 方向性 |
|--------------------|--|
| 風格のある都心 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 首都にふさわしい風格を光で演出 ・ 東京駅赤レンガ駅舎や丸の内駅広場、行幸通りなどの公共空間と周囲の建築物の相互関係を考慮し、一体感や連続性のある光 ・ 皇居の森やお濠の暗さをいかした、落ち着いたある印象的な夜間景観を形成 |
| 個性豊かな拠点 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 都心部では、東京の活力、にぎわい、夜の文化を発信する光、多摩部では、駅等を中心とした界索性や生活を支える活気ある光 ・ 商業や観光の拠点では、華やかさやにぎわいを演出する光により、夜間にも人々を引き付ける。 ・ けばけばしい広告照明など不快な光を適切に抑制し、光の質を高め、快適なナイトライフ観光を促進 ・ 地域の個性を、面的な連続感や統一感のある光で演出し、回遊して楽しめる夜間景観を形成 |
| 歴史的・文化的資源の保全・活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市の発展とともに築かれてきた歴史的・文化的な地域資源の特徴を光で演出 ・ 主役を引き立たせるため、ライトアップ施設の周辺や背景では明るさを抑制し、照明の効果を高める。 ・ 地域のまちづくりと連携し、歴史的・文化的資源を回遊できる歩行者動線やライトアップと調和した照明環境を整備 |
| 幹線道路沿道における風格のある街並み | <ul style="list-style-type: none"> ・ 骨格幹線道路を最も明るくするなど、道路の幅員等に応じて光のヒエラルキーをつけるとともに、照明の明るさや光源の種類などにより、都市軸としての連続感や統一感のある夜間景観を形成 ・ 主要な幹線道路では、光害や省エネルギーに配慮し、交通の安全性を確保するとともに街路樹などを照らし、夜間の快適な歩行者空間を整備 ・ 沿道建築物は道路照明との相互関係に配慮 ・ 屋外広告物は、周辺環境に十分配慮し、過度な照明は避ける。 |
| 水辺を生かした魅力的な都市空間 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京湾に面する臨海部、河川や運河沿いなどは、水面への映り込みを考慮した光を演出 ・ 水上バスの航路や対岸などからの眺望も意識し、水際に光を連続させるなど魅力ある水辺景観を演出 ・ 橋梁等のランドマークのライトアップにより水辺の魅力を向上 |
| 落ち着いたある良好な住環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間における安全性・安心感を確保した照明環境を整備 ・ 過度なまぶしさ・明るさや暗がり排除し、暖かみのある光に質の高い光により、落ち着いたある快適な住環境を形成 ・ 多摩部では、住宅地の中に残されている農地や屋敷林などの武蔵野原風景や丘陵地や崖線の自然との調和にも配慮 |

| 地区区分 | 方向性 |
|----------------|---|
| 渓谷など自然美の保全 | <ul style="list-style-type: none">・ 奥多摩の豊かな自然環境による暗闇を保全し、夜の静けさを感じられる光を演出・ 美しい星空が楽しめるよう、上空への漏れ光などの光害のない照明・ 生態系へ配慮し、環境と共生した照明 |
| 豊かな自然を生かした伊豆諸島 | <ul style="list-style-type: none">・ 良好な自然環境や生態系へ配慮し、自然環境への負荷を軽減・ 美しい星空が楽しめるよう、上空への漏れ光などの光害のない照明・ 島の玄関口となる港周辺や観光スポットでは照明により夜間景観を演出 |